



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社 青山財産ネットワークス 上場取引所 東  
 コード番号 8929 URL <https://www.azn.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓮見 正純  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 橋場 真太郎 TEL 03-6439-5800  
 コーポレートファイナンス本部長  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日—  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|                | 売上高    |      | 営業利益  |      | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 |      |
|----------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
|                | 百万円    | %    | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 百万円                  | %    |
| 2023年12月期第3四半期 | 25,699 | △8.3 | 1,821 | 9.4  | 1,947 | 21.5 | 1,267                | 19.1 |
| 2022年12月期第3四半期 | 28,033 | 56.1 | 1,665 | 18.7 | 1,602 | 17.7 | 1,064                | △9.6 |

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,334百万円 (13.2%) 2022年12月期第3四半期 1,178百万円 (△4.6%)

|                | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
|                | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2023年12月期第3四半期 | 52.13           | 52.11                      |
| 2022年12月期第3四半期 | 43.89           | 43.84                      |

#### (2) 連結財政状態

|                | 総資産    | 純資産   | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|-------|--------|----------|
|                | 百万円    | 百万円   | %      | 円 銭      |
| 2023年12月期第3四半期 | 22,572 | 8,799 | 38.7   | 358.67   |
| 2022年12月期      | 21,757 | 8,320 | 38.0   | 340.13   |

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 8,727百万円 2022年12月期 8,265百万円

### 2. 配当の状況

|               | 年間配当金  |        |        |       |       |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
|               | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末    | 合計    |
|               | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭   | 円 銭   |
| 2022年12月期     | —      | 13.00  | —      | 22.00 | 35.00 |
| 2023年12月期     | —      | 15.00  | —      | —     | —     |
| 2023年12月期（予想） | —      | —      | —      | 26.00 | 41.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高    |     | 営業利益  |      | 経常利益  |      | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
|    | 百万円    | %   | 百万円   | %    | 百万円   | %    | 百万円                 | %    | 円 銭            |
| 通期 | 37,400 | 4.0 | 3,300 | 25.5 | 3,370 | 34.8 | 2,040               | 20.4 | 83.84          |

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（2023年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注2) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年9月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名） - 除外 1社（社名） Aoyama Zaisan Networks USA, Inc.  
(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

|                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年12月期3Q | 24,520,859株 | 2022年12月期   | 24,520,859株 |
| ② 期末自己株式数           | 2023年12月期3Q | 189,246株    | 2022年12月期   | 220,328株    |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 2023年12月期3Q | 24,316,926株 | 2022年12月期3Q | 24,259,222株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。

上記予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2  |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2  |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 5  |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 5  |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....           | 6  |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 6  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 8  |
| 四半期連結損益計算書                         |    |
| 第3四半期連結累計期間 .....                  | 8  |
| 四半期連結包括利益計算書                       |    |
| 第3四半期連結累計期間 .....                  | 9  |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 10 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....    | 10 |
| (会計方針の変更) .....                    | 10 |
| (追加情報) .....                       | 10 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは2022年からの3ヵ年を「拡大成長期」と位置付けた第三次中期経営計画を策定し、8つの「戦略的個別サービス」と「総合財産コンサルティングサービス」の両輪によるお客様サービスの品質向上と、量的拡大を実現する施策に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、世界的なインフレの進行や金利の上昇、急激な為替の変動など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社のお客様である個人資産家や企業オーナーの財産コンサルティングサービスのニーズ、とりわけ財産承継、事業承継、資産保全並びに資産運用ニーズは大幅に増大しております。

金融機関等からのお客様の紹介は堅調に推移しており、お客様数は増加し続けております。既存のお客様のアカウントプラン（個社・個人別中長期コンサルティング計画）の年度実行に加え、新規のお客様のアカウントプランの策定および年度実行により当年度の財産コンサルティング収益の拡大と中長期的な財産コンサルティングの提案・受託を行ってまいりました。

また、8つの「戦略的個別サービス」についての進捗は以下の通りでございます。

ADVANTAGE CLUBについては、不動産の運用商品として長年にわたり信頼を得ており、積極的に組成をしており、募集開始からわずか数日で募集口数に到達している状態が続いております。不動産を裏付けとした運用商品のニーズはますます高まっていることから、今後も積極的に組成を行っていく方針です。

STO事業においては、ADVANTAGE CLUBにつぐ第2の不動産を裏付けとした運用商品の柱と位置付けております。当第3四半期連結累計期間において、第1号案件となる渋谷区神宮前の案件を組成しました。STOもADVANTAGE CLUBと同様にニーズが高く、第2号案件の組成に向けて積極的に取り組んでまいります。

購入コンサルティング事業においては、首都圏の不動産購入ニーズを持つ資産家に対して積極的に提案しており複数成約しております。特に当事業年度はADVANTAGE CLUBの連携を行っている地方銀行のお客様向けに提案を開始し、財産コンサルティングの受託に繋がっております。

土地有効活用コンサルティング事業においては、有効活用専門チームを組成し、地方銀行およびメガバンク2行との連携を昨年度から開始し、着実に案件を受託しております。

ファミリーオフィスサービス事業においては、メガバンクおよび有力な地方銀行と連携し、非財産分野のコンサルティングを超巨大企業の同族オーナー向けに行っております。ファミリーガバナンスのコンサルティングをきっかけとして財産承継や事業承継のコンサルティング案件も受託しており、超富裕層へのコンサルティング案件に繋がっております。

地域創生コンサルティング事業については、敦賀市敦賀駅西地区土地活用事業『TSURUGA POLT SQUARE「otta（オッタ）」』が一般財団法人都市みらい推進機構主催の「令和5年度 土地活用モデル大賞」において、国土交通大臣賞を受賞しました。当該受賞により、当社が手掛ける地域創生事業への問い合わせは増加しております。また、国土交通省や地方銀行と連携して共同セミナーを行うなど当社が手掛ける地域創生事業の普及活動に積極的に取り組んでおります。結果的に多くの自治体から案件の紹介を受け、過去最大級の案件の受託をする予定です。

事業承継ファンド事業においては、第4四半期会計期間に2件の投資回収を予定しております。100を超えるM&Aブティックと連携しており、M&Aが成立せず縮小型のM&Aや廃業を選択肢に選ばざるをえない企業が増加していることから、多くの紹介案件を受けております。また、コロナ禍によるゼロゼロ融資の返済リスクの増大に伴い、過剰債務企業のリスクをヘッジするために地方銀行からの当該スキームを活用する問い合わせが増加しております。ニーズの拡大により、今後ますます投資の増加が見込まれると考えております。

I F Aによる金融商品運用サービスについては、グループ会社の(株)青山フィナンシャルサービスによる金融資産コンサルティングを積極的に行ったことから、預かり資産残高は約60億円に到達しました。従来、当社の財産コンサルティングは資産の半分程度を占める不動産に傾注しておりましたが、金融商品運用サービスの提供により、名実ともに総合財産コンサルティングを行える体制を整えることができました。特に円安に伴う海外分散投資意欲の高まりや、仕組債問題から発生する代替ニーズ、また、総合財産コンサルティングを行う上での金融資産のセカンドオピニオンを求める声が高まっております。さらには、M&A業界における最大手の(株)日本M&AセンターのM&A後のお客様に対する資産運用のコンサルティングを受託しており、それらに対応することにて預かり残高が増加しております。

売上高につきましては、25,699百万円（前年同四半期は28,033百万円）となりました。不動産取引収益はADVANTAGE CLUB等の組成額が減少したことから、前年同四半期を下回る売上高となりました。一方、財産コンサルティング収益については、お客様数が増加しており、収益率の高い財産承継コンサルティングの売上が大幅に増加致しました。

営業利益につきましては、1,821百万円（前年同四半期は1,665百万円）となりました。利益率の高い財産コンサルティング収益の増加により売上総利益は増加しました。費用面においては、積極的な採用活動を行ったことから人員が増加しており人件費が増加しております。

経常利益につきましては、営業外収益201百万円（前年同四半期は94百万円）、営業外費用75百万円（前年同四半期は157百万円）を計上したことから1,947百万円（前年同四半期は1,602百万円）となりました。為替差益173百万円（前年同四半期は82百万円）を計上したことから営業外収益が増加しております。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,267百万円（前年同四半期は1,064百万円）となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、下表の通り、売上高25,699百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益1,821百万円（同9.4%増）、経常利益1,947百万円（同21.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,267百万円（同19.1%増）となりました。

（単位：百万円）

|                          | 2022年12月期<br>第3四半期 | 2023年12月期<br>第3四半期 | 前年同四半<br>期比 | 2023年12月期<br>修正後通期<br>業績予想 | 修正後業績<br>予想に対す<br>る進捗率 | 2022年12月期<br>通期実績 |
|--------------------------|--------------------|--------------------|-------------|----------------------------|------------------------|-------------------|
| 売上高                      | 28,033             | 25,699             | ▲8.3%       | 37,400                     | 68.7%                  | 35,952            |
| 営業利益                     | 1,665              | 1,821              | 9.4%        | 3,300                      | 55.2%                  | 2,629             |
| 経常利益                     | 1,602              | 1,947              | 21.5%       | 3,370                      | 57.8%                  | 2,499             |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期(当期)純利益 | 1,064              | 1,267              | 19.1%       | 2,040                      | 62.1%                  | 1,694             |

当社グループは、財産コンサルティング事業のみの単一セグメントであります。売上高の区分別業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

|            | 2022年12月期<br>第3四半期 | 2023年12月期<br>第3四半期 |
|------------|--------------------|--------------------|
| 財産コンサルティング | 4,393              | 4,588              |
| 不動産取引      | 23,640             | 21,111             |
| 合計         | 28,033             | 25,699             |

#### ① 財産コンサルティング

当社グループは個人資産家および企業オーナーに対して財産承継及び事業承継コンサルティングを提供しております。また独自の商品を開発してお客様の財産運用及び財産管理のコンサルティングも手掛ける総合財産コンサルティングファームです。

財産コンサルティングの売上高の内訳は次の通りであります。

(単位：百万円)

|       | 2022年12月期<br>第3四半期 | 2023年12月期<br>第3四半期 |
|-------|--------------------|--------------------|
| 財産承継  | 1,952              | 2,871              |
| 事業承継  | 1,171              | 673                |
| 商品組成等 | 1,269              | 1,042              |
| 合計    | 4,393              | 4,588              |

財産承継につきましては、個人資産家に対して相続の事前・事後対策、保有不動産の有効活用、広大地活用、不動産の購入・売却に関するコンサルティングなどから得られる売上を計上しております。当第3四半期連結累計期間においては、既存のお客様の案件に加え、昨年来からご紹介頂いたお客様の案件が堅調に推移しております。

事業承継につきましては、企業オーナーに対して後継者決定支援、組織再編・財務改善・成長戦略支援、転廃業支援、M&A後の財産承継支援やM&A支援、事業承継ファンドを活用したコンサルティングなどから得られる売上を計上しております。当第3四半期連結累計期間においては、本業である同族への事業承継プランニングについては売上が624百万円（前年同四半期は606百万円）、M&Aの売上が40百万円（同387百万円）、事業承継ファンドの売上が8百万円（同177百万円）となりました。年度の顧客向けアカウントプランが財産承継コンサルティングに比較して下期に偏重しております。いずれのセグメントにおいても年度アカウントプランの早期のクロージングに努めてまいります。

商品組成等につきましては、当第3四半期連結累計期間においては、昨年度に比べADVANTAGE CLUBの組成額が下回っていること、また、当第3四半期連結累計期間までにADVANTAGE CLUBの解散がなかったことから減少しております。

以上の結果、財産コンサルティングの売上高は4,588百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。また、財産コンサルティングの売上高、売上原価及び売上総利益は下表の通りです。

(単位：百万円)

|       | 2022年12月期<br>第3四半期 | 2023年12月期<br>第3四半期 |
|-------|--------------------|--------------------|
| 売上高   | 4,393              | 4,588              |
| 売上原価  | 2,497              | 2,543              |
| 売上総利益 | 1,896              | 2,044              |

## ② 不動産取引

当社グループは財産コンサルティングの一環として、顧客の資産運用ニーズへの対応を図る目的から、不動産を仕入れ、不動産に関連した商品の開発を行い当社顧客等への販売を行っております。

不動産取引の売上高の内訳は次の通りであります。

(単位：百万円)

|                | 2022年12月期<br>第3四半期 | 2023年12月期<br>第3四半期 |
|----------------|--------------------|--------------------|
| ADVANTAGE CLUB | 21,602             | 15,871             |
| STO            | -                  | 4,576              |
| その他不動産取引       | 2,037              | 663                |
| 合計             | 23,640             | 21,111             |

ADVANTAGE CLUBにつきましては、当第3四半期連結累計期間においては5件組成し15,871百

万円の売上を計上いたしました。ADVANTAGE CLUBは募集開始後、極めて短期間に申し込みが終了する状況が継続しており、多大なニーズがあることから今後も積極的な組成を行ってまいります。

STOにつきましては、第1号案件を組成したことにより売上を計上しております。

その他不動産取引につきましては、1棟ものの不動産の提供や不動産保有時の賃料収入等を計上しております。

以上の結果、不動産取引の売上高は21,111百万円（前年同四半期比10.7%減）となりました。また、不動産取引の売上高、売上原価及び売上総利益は下表の通りです。

（単位：百万円）

|       | 2022年12月期<br>第3四半期 | 2023年12月期<br>第3四半期 |
|-------|--------------------|--------------------|
| 売上高   | 23,640             | 21,111             |
| 売上原価  | 21,561             | 19,059             |
| 売上総利益 | 2,078              | 2,052              |

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

流動資産は16,430百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,014百万円の増加となりました。これは、販売用不動産が1,883百万円増加し、現金及び預金が976百万円減少したことなどによります。現金及び預金の比率が高い理由は、ADVANTAGE CLUB販売時に何らかの経済危機が発生し、不動産在庫リスクが発生する場合に備え、継続的に経営を維持できるよう保守的な財務運営によるものであります。但し、ADVANTAGE CLUB用の不動産仕入については、不動産の仕入決済時にADVANTAGE CLUBを組成するなど不動産在庫リスクを発生させない方針を継続しております。

固定資産は6,141百万円となり、前連結会計年度末に比べて199百万円の減少となりました。これは、繰延税金資産が120百万円減少したことなどによります。

これらにより資産合計は22,572百万円となり、前連結会計年度末に比べて814百万円の増加となりました。

### （負債）

流動負債は6,326百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,184百万円の増加となりました。これは、短期借入金金が1,925百万円増加し、未払金が506百万円、未払法人税等が434百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は7,445百万円となり、前連結会計年度末に比べて849百万円の減少となりました。これは、長期借入金金が1,101百万円減少し、長期預り敷金保証金が292百万円増加したことなどによります。

これらにより負債合計は13,772百万円となり、前連結会計年度末に比べて335百万円の増加となりました。

### （純資産）

純資産合計は8,799百万円となり、前連結会計年度末に比べて479百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により1,267百万円増加し、配当金の支払いにより899百万円減少したことなどによります。

これらにより自己資本比率は38.7%（前連結会計年度末は38.0%）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期連結業績予想につきましては、本日（2023年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。当該数値は現時点での見込みであり、今後、公表すべき事象が生じましたら、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

|             | 前連結会計年度<br>(2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2023年9月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>資産の部</b> |                          |                              |
| 流動資産        |                          |                              |
| 現金及び預金      | 12,804                   | 11,827                       |
| 売掛金         | 684                      | 769                          |
| 販売用不動産      | 1,751                    | 3,635                        |
| その他の棚卸資産    | 15                       | 12                           |
| その他         | 160                      | 195                          |
| 貸倒引当金       | △0                       | △9                           |
| 流動資産合計      | 15,416                   | 16,430                       |
| 固定資産        |                          |                              |
| 有形固定資産      |                          |                              |
| 建物及び構築物(純額) | 2,324                    | 2,235                        |
| 土地          | 195                      | 195                          |
| その他(純額)     | 110                      | 103                          |
| 有形固定資産合計    | 2,630                    | 2,534                        |
| 無形固定資産      |                          |                              |
| のれん         | 19                       | 12                           |
| ソフトウェア      | 365                      | 283                          |
| その他         | 25                       | 23                           |
| 無形固定資産合計    | 410                      | 320                          |
| 投資その他の資産    |                          |                              |
| 投資有価証券      | 2,727                    | 2,835                        |
| 関係会社株式      | 37                       | 38                           |
| 繰延税金資産      | 160                      | 39                           |
| その他         | 375                      | 373                          |
| 投資その他の資産合計  | 3,300                    | 3,287                        |
| 固定資産合計      | 6,341                    | 6,141                        |
| 資産合計        | 21,757                   | 22,572                       |

(単位：百万円)

|               | 前連結会計年度<br>(2022年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2023年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                          |                              |
| 流動負債          |                          |                              |
| 買掛金           | 291                      | 205                          |
| 短期借入金         | —                        | 1,925                        |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,950                    | 1,942                        |
| 1年内償還予定の社債    | 150                      | 60                           |
| 未払法人税等        | 687                      | 252                          |
| 未払金           | 1,128                    | 621                          |
| 賞与引当金         | —                        | 548                          |
| その他           | 935                      | 771                          |
| 流動負債合計        | 5,142                    | 6,326                        |
| 固定負債          |                          |                              |
| 社債            | 30                       | —                            |
| 長期借入金         | 6,003                    | 4,902                        |
| 長期預り敷金保証金     | 2,180                    | 2,473                        |
| 長期未払金         | 54                       | 46                           |
| その他           | 26                       | 24                           |
| 固定負債合計        | 8,295                    | 7,445                        |
| 負債合計          | 13,437                   | 13,772                       |
| <b>純資産の部</b>  |                          |                              |
| 株主資本          |                          |                              |
| 資本金           | 1,210                    | 1,210                        |
| 資本剰余金         | 1,374                    | 1,381                        |
| 利益剰余金         | 5,593                    | 5,961                        |
| 自己株式          | △168                     | △144                         |
| 株主資本合計        | 8,010                    | 8,409                        |
| その他の包括利益累計額   |                          |                              |
| その他有価証券評価差額金  | 206                      | 358                          |
| 為替換算調整勘定      | 47                       | △41                          |
| その他の包括利益累計額合計 | 254                      | 317                          |
| 新株予約権         | 30                       | 43                           |
| 非支配株主持分       | 24                       | 28                           |
| 純資産合計         | 8,320                    | 8,799                        |
| 負債純資産合計       | 21,757                   | 22,572                       |

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

|                                       | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年1月1日<br>至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高                                   | 28,033  | 25,699  |
| 売上原価                                  | 24,058  | 21,603  |
| 売上総利益                                 | 3,975   | 4,096   |
| 販売費及び一般管理費                            | 2,309   | 2,274   |
| 営業利益                                  | 1,665   | 1,821   |
| 営業外収益                                 |   |   |
| 為替差益                                  | 82  | 173   |
| その他                                   | 12  | 28  |
| 営業外収益合計                               | 94  | 201   |
| 営業外費用                                 |   |   |
| 支払利息                                  | 60  | 58  |
| 支払手数料                                 | 84  | 16  |
| その他                                   | 12  | 0   |
| 営業外費用合計                               | 157   | 75  |
| 経常利益                                  | 1,602   | 1,947   |
| 特別利益                                  |   |   |
| 新株予約権戻入益                              | 0   | —   |
| 特別利益合計                                | 0   | —   |
| 特別損失                                  |   |   |
| 減損損失                                  | 5   | —   |
| 特別損失合計                                | 5   | —   |
| 税金等調整前四半期純利益                          | 1,597   | 1,947   |
| 法人税、住民税及び事業税                          | 558   | 621   |
| 法人税等調整額                               | △21   | 53  |
| 法人税等合計                                | 536   | 675   |
| 四半期純利益                                | 1,060   | 1,271   |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △4  | 4   |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益                      | 1,064   | 1,267   |

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

|                 | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2022年1月1日<br>至 2022年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年1月1日<br>至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益          | 1,060   | 1,271   |
| その他の包括利益        |   |   |
| その他有価証券評価差額金    | △7  | 152   |
| 為替換算調整勘定        | 126   | △89   |
| その他の包括利益合計      | 118   | 62  |
| 四半期包括利益         | 1,178   | 1,334   |
| (内訳)            |   |   |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,182   | 1,330   |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △4  | 4   |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月13日開催の取締役会の決議に基づき、2023年5月10日付けで、譲渡制限付株式報酬としての自己株式31,082株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が7百万円増加、自己株式が23百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,381百万円、自己株式が144百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であったAoyama Zaisan Networks USA, Inc.を清算したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。時価算定会計基準適用指針の適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度から単体納税制度への移行)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度から単体納税制度に移行しております。